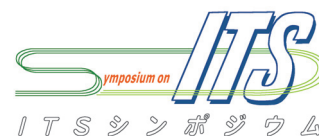


第 18 回 ITS シンポジウム 2020

2020 年 12 月 10 日(木)~11 日(金)

松山市総合コミュニティセンター



Call for Papers

テーマ： **新たな価値を創造する ITS ～安全、安心、豊かな地域社会の実現に向けて～**

2020 年、5G のサービス提供が開始された。また、世界を震撼させている新型コロナウイルスの影響もあり、対面から SNS へと、人々によるコミュニケーション手段が、そのシフトを加速していくものと想定される。さらに、人口減少化社会および超高齢化社会の到来と過疎化の進行も相まって、人そのものの移動手段への対応は、今後ますます重要になっていくと考えられる。

一方で、モノの移動に関しては、例えば買い物交通が物流へとシフトすることが想定され、これまでと同等かそれ以上のトラフィックを発生させる可能性が高い。このような趨勢の中、人に関しては量よりも質を重視する安全・快適な交通システム、モノに関してはラストワンマイルの効率的輸送を実現する物流システムの構築が重要な課題となる。そこで、これらの課題解決に貢献する ITS 技術開発に向けられた期待は大きいといえよう。

具体的には、車両制御技術、通信技術、AI 技術などを活用した自動運転技術導入による安全性向上、モニタリング技術、通信技術、交通管制技術などの活用による災害時・緊急時のモビリティ確保(安心の獲得)、さらには、これらの技術や MaaS, IoT を活用した効率的な交通システムを構築することによって、持続可能な開発目標(SDGs)を達成する豊かな地域社会の実現に貢献することが期待されている。

松山市は、人口 50 万人を擁する四国で最大の中核都市である。3 千年の歴史を持つ道後温泉を有するとともに、文豪の夏目漱石や俳句の正岡子規にゆかりの文学の街である。本 ITS シンポジウムでは、松山の歴史と文学に触れて頂く中で活発な議論を通して、ITS が創造する新たな価値と ITS が創造する豊かな地域社会に思いを巡らせて頂きたい。

投稿時に「査読あり」「査読なし」のいずれかをお選びください。査読ありを希望され、採択された論文は International Journal of Intelligent Transportation Systems Research (IJIT)*に掲載されます。

* International Journal of Intelligent Transportation Systems Research: <http://www.springer.com/engineering/electronics/journal/13177>

● 査読あり

- (1) 提出期限: 6 月 1 日(月)
- (2) 提出物: A4 サイズ 10 ページ以内のフルペーパー。使用言語は英語のみとします。
指定のフォーマットに従って Word ファイルで作成してください(PDF は不可です)。
フォーマットは http://www.its-jp.org/event/its_symposium/18th2020/ に掲載します。
- (3) 提出先: IJIT 投稿サイト: <http://www.editorialmanager.com/ijit/> Article Type は ITS Symposium を選択してください。
- (4) 結果通知: ジャーナルの採否結果は 10 月末にご連絡する予定です。採択論文は、ジャーナルの通常号の論文として取り扱われます。また、この時点までに採用に至らなかった論文でも引き続き査読を受けることができ、最終的に採択に至った場合にはジャーナルに掲載されます。
- (5) 発表: ジャーナル掲載の採否に関わらずシンポジウムにおける発表を必須とします。
対話セッション(ポスターセッション)でご発表いただきます。基本言語は日本語ですが、海外の方は英語可とします。

● 査読なし

- (1) 提出期限: 8 月 17 日 (月)
- (2) 提出方法: 250 字程度のアブストラクト。使用言語は日本語または英語。投稿票に記入し下記送付先へメールでお送りください。投稿票は http://www.its-jp.org/event/its_symposium/18th2020/に掲載します。
- (3) 結果通知: 9 月中旬
- (4) 最終原稿: 11 月 6 日(金)までに A4 サイズ 6 ページ以内のフルペーパーをご提出いただきます。
論文は参加登録者限定ウェブサイトに掲載します。
- (5) 発表: 採用された論文は対話セッション(ポスターセッション)でご発表いただきます。

*人を対象とする研究においては研究対象者の尊厳および人権を尊重するとともに、被験者の生命・健康・安全の確保に配慮しなければなりません。研究対象者に係るデータや情報は適切に扱い、プライバシーを保護するとともに、被験者からインフォームド・コンセントを得なければなりません。また、研究を計画、実施するにあたっては所属機関等の倫理委員会の承認を得ることが必要です。

■スケジュール (予定)

●査読あり

論文投稿締切	6月1日(月)
1次判定結果通知	7月末
修正論文提出	8月末
ジャーナル採否通知	10月末
掲載用最終稿提出	11月下旬
論文掲載	12月下旬

●査読なし

アブストラクト投稿締切	8月17日(月)
採否通知	9月中旬
掲載用最終稿提出	11月6日(金)
ショットガンスライド提出	11月16日(月)
論文掲載	12月上旬

■参加登録料

タイプ	11月30日まで		12月1日より	
	会員	非会員	会員	非会員
聴講	一般	15,000円	18,000円	23,000円
	学生	3,000円		
論文発表	一般	15,000円		
	学生	8,000円		

※ジャーナル掲載のための掲載料は廃止いたしました。査読あり・なしの別なく、上記の登録料で論文をご発表いただきます。

■募集する論文の分野

A. Challenges and Opportunities of Big Open Data

Open data management and application
Data sharing and exchange
Ubiquitous sensing
Technology for data collection
Availability and quality of data
Data visualisation
Data fusion
Predictive analytics
New business models for traveller information
Security in an open environment

B. Smart Cities and New Urban Mobility

Integrated transport system
Next generation traffic management
Transport modelling
Road user charging
Travel demand management
Integrated ticketing and payment
Incident management

C. Automated Vehicles and Cooperative ITS

V2X Communication technologies and Cooperative systems
Human factors and human machine interface
Field operational tests, pilots and demonstrations
Positioning, mapping and navigation
Security and integrity for connected and automated vehicles
Mobility as a service - a transport revolution?
Infrastructure and regulation needs for a mixed-capability fleet

D. Mobile Applications

Multi modal real time information
Multi modal journey planner
Demand responsive public transport
Taxi and parking reservation
Real time traffic advisory

E. Vehicle and Network Safety

Speed advice and restriction
Technology and system for safety and enforcement
Advanced driver assistance and support systems
Human factors
Emergency pre-emption and notification
Post-crash response
Improving safety of vulnerable road users
e-call
Roadwork safety and inclement weather management
Preventative and active safety systems

F. Future Freight including Aviation and Maritime

Freight and fleet management
Logistics
Railway network operation
Unmanned aerial vehicles (UAS / RPAS / Drones)

G. Environmental Sustainability

Environmental impact reduction
Electro mobility and charging
Eco driving
Reducing noise
Car sharing, bicycle sharing and ride sharing
Encouraging active transport and mode shift

■第18回 ITS シンポジウム 2020

主催： 特定非営利活動法人 ITS Japan

共催： 愛媛大学

協賛(予定)： 計測自動制御学会, 交通工学研究会, 自動車技術会, 情報処理学会, 人工知能学会, 電気学会, 電子情報通信学会, 土木学会, 日本機械学会, 日本交通心理学会, 日本ロボット学会, 自動車技術会 ITS 部門委員会, 情報処理学会高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)研究会, 情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会, 情報処理学会ユビキタスコンピューティングシステム研究会, 電気学会 ITS 技術委員会, 電子情報通信学会 ITS 研究会

実行委員長： 大橋裕一 (愛媛大学 学長)

プログラム委員長： 吉井稔雄 (愛媛大学大学院 理工学研究科生産環境工学専攻 教授)

プログラム委員会： 奥嶋政嗣 (徳島大学), 奥出真理子 (茨城工業高等専門学校), 川崎洋 (九州大学), 倉内慎也 (愛媛大学), 白柳洋俊 (愛媛大学), 神野雅文 (愛媛大学), 杉町敏之 (東京都市大学), 鈴木桂輔 (香川大学), 力石真 (広島大学), 都築伸二 (愛媛大学), 坪田隆宏 (愛媛大学), 中野公彦 (東京大学), 西内裕晶 (高知工科大学), 原加代子 (日産自動車), 平田篤嗣 (西日本高速道路エンジニアリング四国), 峯恒憲 (九州大学)

送付先： ITS Japan 井出 (TEL: 03-5777-1013 / FAX: 03-3434-1755 / E-mail: h-ide@its-jp.org)